

株式会社 F U J I

イノベーションに取り組む現場の挑戦

November 26, 2025



FUJI CORPORATION

This material and all of its content is copyright of FUJI CORPORATION. All rights reserved.

Any redistribution or reproduction of part or all of this content without the expressed permission of FUJI CORPORATION is strictly prohibited.



名前： 神谷 一光（カミヤ カズミツ）

所属・役職：イノベーション推進部 課長

FUJI Innovation Lab. Regional Director

自動車部品メーカーで10年以上ソフトウェア開発に従事。途中、ドイツへの赴任を経験し海外企業との仕事の仕方や文化を学ぶ。

帰任後、新規事業開発に挑戦したいという希望から、社内公募を経て2018年に米国シリコンバレーに赴任。現地ではブランチマネージャとしてスタートアップ投資チーム、PoCチームを統括しながら、オフィスマネジメントだけでなくプレイイングマネージャとして自らもスタートアップ企業とPoCや事業立上げを実践。

2022年に帰国後、株式会社FUJIに転職。現在も0→1の新規事業開発に携わりながら、事業のタネを探作中。

自己紹介

天野 水月（あまの みづき） 株式会社F U J I イノベーション推進部



大学卒業後、F U J I に入社。イノベーション推進部でマーケットリサーチやスタートアップ探索を担当しながら、社内ビジネスコンテストの立ち上げ・企画・運営にも携わる。社内でのデザイン思考研修を受講後、現在はその運営にも従事。イノベーションにおける国際資格「GIMI Innovation Catalyst」を取得し、知識と実践の両面でスキルを研鑽中。
入社2年目ながら、2025年1月からは、武蔵精密工業、F U J I、丸紅で共催する起業家育成プログラム「Innovator's Bus」の講師・メンターも務める。



会社紹介

会社名 株式会社 F U J I
創業 1959年4月
本社所在地 愛知県知立市山町茶碓山19番地
代表者 代表取締役社長 五十棲 丈二



本社:愛知県知立市



電子部品実装ロボット



半導体製造装置
ダイボンダ



工作機械

数字でわかるF U J I

創業 (1959年4月)



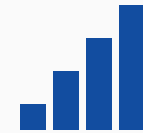
67年目

従業員数 (2025年3月末時点)



2,976名

売上高 (2025年3月期)



1,273億円

海外売上比率 (2025年3月期)



89.4%

累計出荷国数 (2025年3月末時点)



60ヶ国以上

営業利益率 (2025年3月期)



10.8%

時価総額 (2025年3月末時点)



1,858億円

研究開発費比率 (2025年3月期)



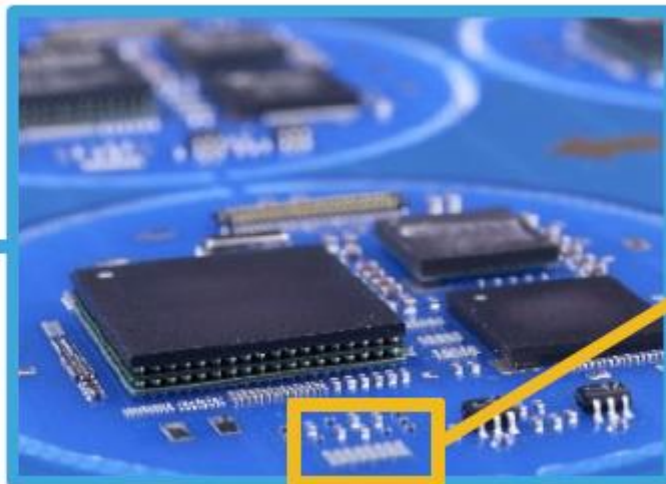
6.1%

配当性向 (2025年3月期)



66.9%

数字でわかる F U J I



NXTR
FUJI Smart Factory Platform

1秒間に

16個

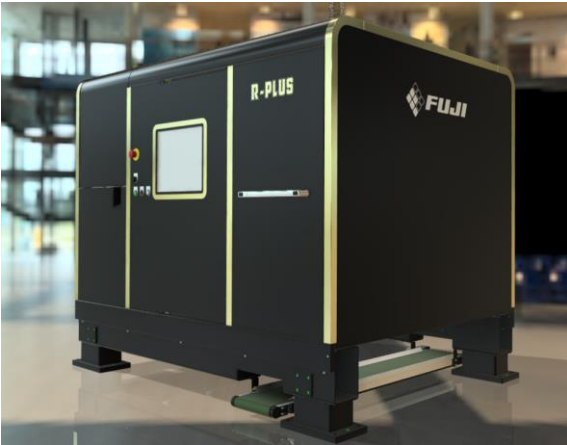
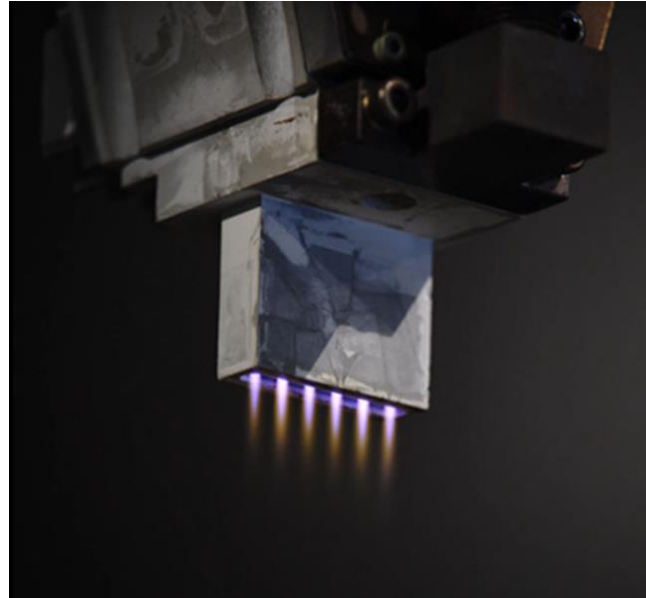
装着精度

± **10** μ m

世界のスマホの

1/2台

新規事業紹介

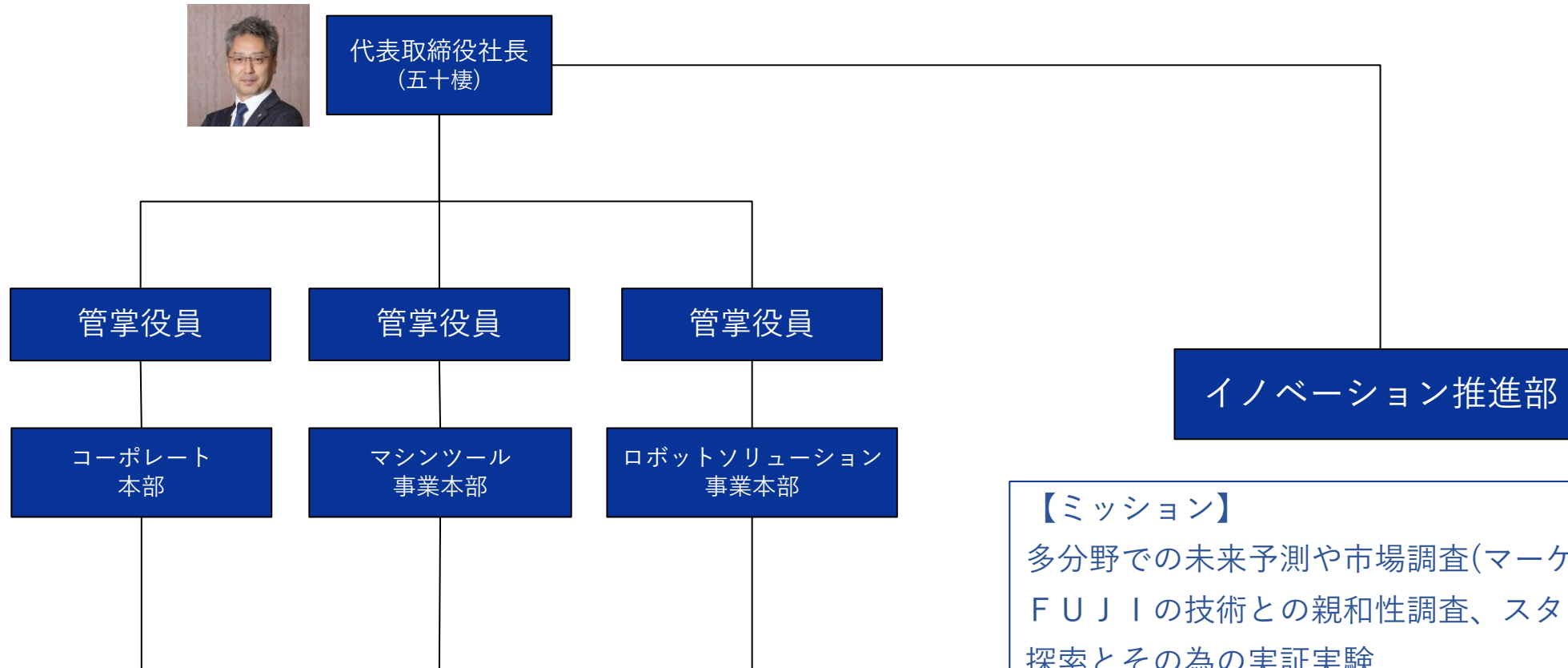


蓄積した技術を礎に、新たな領域へ

電子部品実装ロボットや工作機械の開発・製造で磨き上げたノウハウを活かして、積極的に新分野を開拓。

大気圧プラズマユニット、介護分野の移乗サポートロボット、物流分野のパブリックストックカシステム、教育分野の”科学を英語で学ぶ”アフタースクール teracoya THANKなど、新たなFUJIブランドが誕生し、いずれも高い評価を得ています。





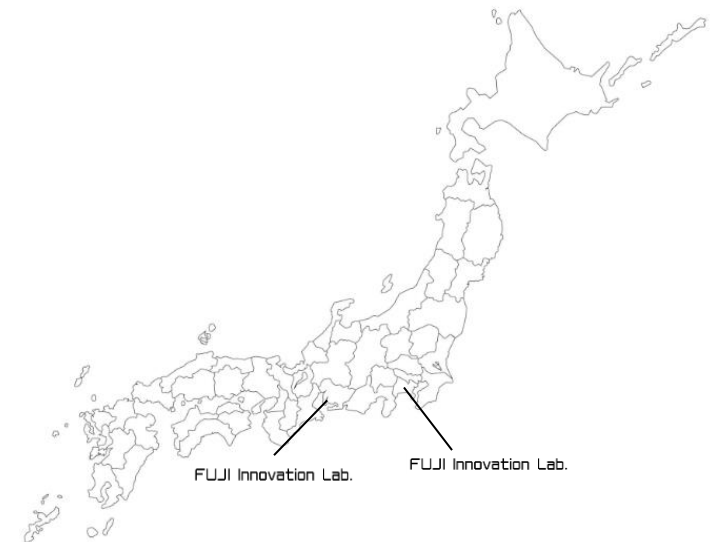
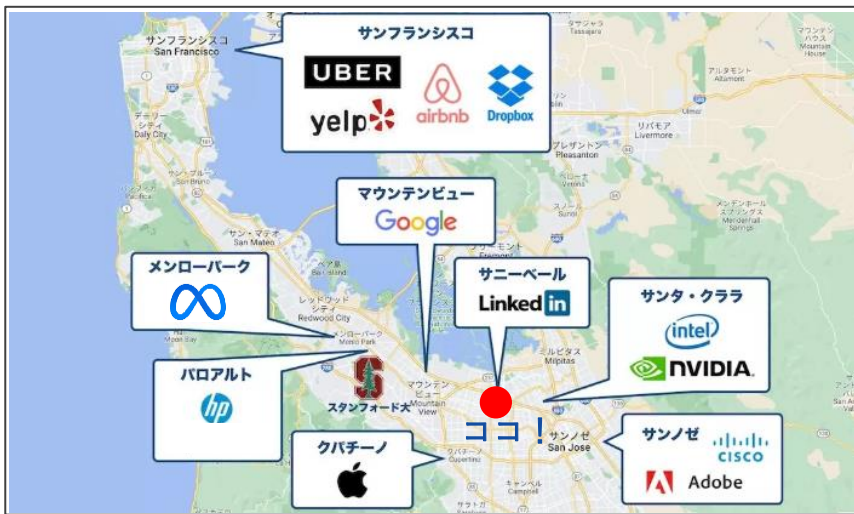
【ミッション】

多分野での未来予測や市場調査(マーケティング)、
F U J I の技術との親和性調査、スタートアップ企業
探索とその為の実証実験

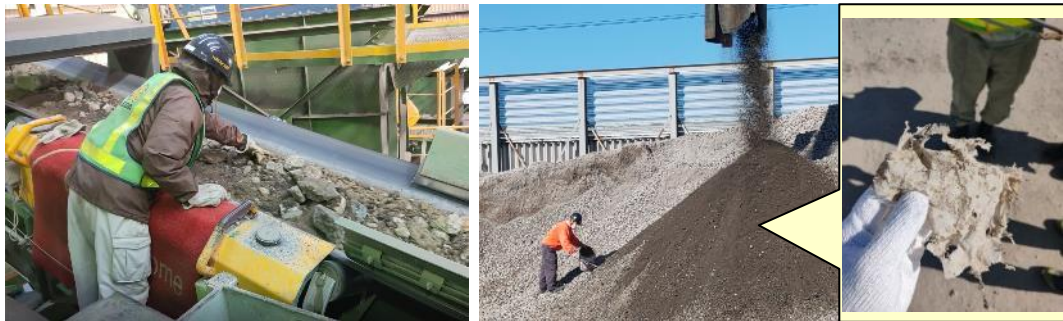
FIL (FUJI Innovation Lab.)

北米に3拠点(サニーベール(CA)、ブルックリン(NY)、シアトル(WA))、日本に2拠点(東京、愛知)あるFUJIの研究所。スタートアップ企業、新技術の探索、展示会調査、マーケティング調査等の活動を行う。

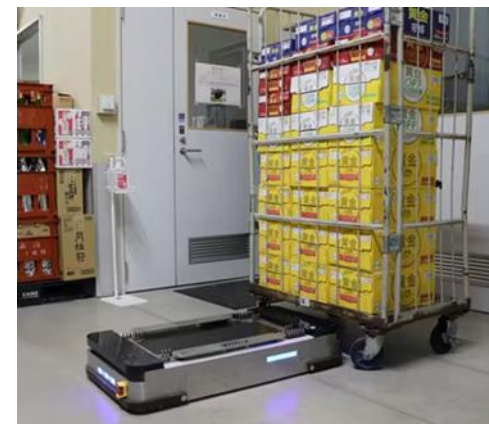
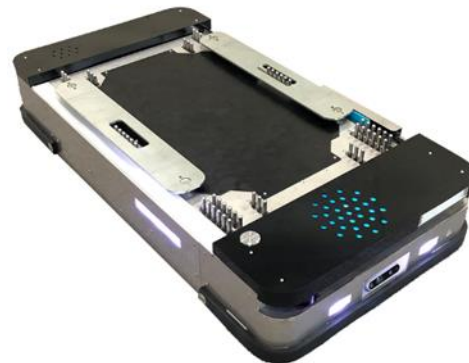
FUJI Innovation Lab.



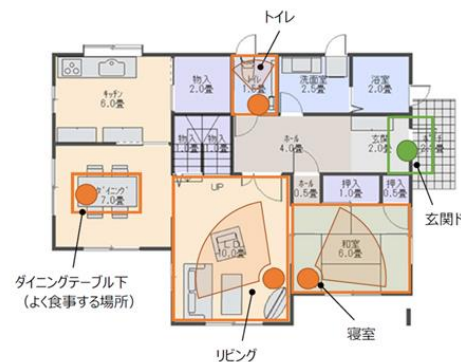
■ がれきリサイクルロボット



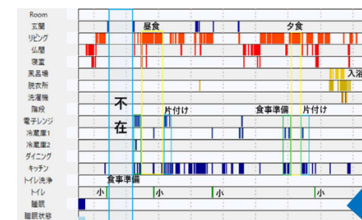
■ 小売り事業者様向け自動搬送ロボット (AMR)



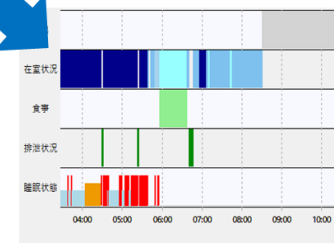
■ 高齢者見守りソリューション



データ収集



AI分析による事象抽出



ワイヤレスセンサ



プレスリリース発信



2024 年 5 月 20 日
株式会社 F U J I

FUJI、27pilots と協業し「ベンチャークライアントモデル」の運営を開始 スタートアップのソリューションを活用したイノベーション活動のさらなる飛躍を目指す

株式会社 F U J I（本社：愛知県知立市、代表取締役社長：五十樓 丈二、以下「F U J I」）は 27pilots Deloitte GmbH（本社：ドイツ ミュンヘン、CEO：グレゴール・ギミー、以下「27pilots」）の協力を得て、スタートアップとの協業によって競争優位を獲得していくことを目指して、欧米を中心に導入が進むスタートアップの顧客となりながら競争優位を獲得する「ベンチャークライアントモデル（以下「VCM」）」の本格導入、運営を開始しました。

27pilots
a Deloitte business



F U J I は 2017 年にオープンイノベーションの促進を目的に米国カリフォルニア州にあるシリコンバレーに FUJI Innovation Lab. を設立し、世界のトップスタートアップとの協業を進めてまいりました。上記の拠点では、F U J I の事業領域であるロボティクスやスマートファクトリー、物流等を中心に、シリコンバレーのトップベンチャーキャピタルから出資を受けるスタートアップなどとの協業を実現し、スタートアップが持つ独自性に富んだ最先端技術やソリューションを F U J I の量産製品に取り入れてきました。2023 年では、1 年間で 500 件超の有望スタートアップの探索活動を行い、そのうちの 12 件に関しては契約締結および導入を行っています。

この度、企業の競争環境がより一層厳しくなる中において、自社事業における競争優位性の獲得に貢献するスタートアップの技術活用を加速させるために、VCM に関するコンサルティングのリーディングプロバイダーである 27pilots の協力を得て、FUJI Innovation Lab. に VCM 運営の専門組織であるベンチャークライアントユニットの機能を持たせ本格運営を開始しました。

F U J I VCM について

- ・ FUJI Innovation Lab. が外部連携により解決が可能な社内の戦略的課題を特定し、連携に適切なスタートアップを探索します。
- ・ F U J I の事業部門とスタートアップを繋ぎ、パイロットプロジェクトを迅速に始められるよう支援します。
- ・ パイロットプロジェクトでは F U J I の実際のユースケースにスタートアップの技術と文化が適合している事を迅速に検証し、パートナーシップまたはサプライヤー関係の構築に役立てます。

FUJI Innovation Lab. が行うこと

- ・ リストアップしたスタートアップを事前に選定された基準に基づき絞り込み、最も良い候補を選定する

- ・ 実際のユースケースを想定した環境でスタートアップをテストする
- ・ 技術と文化の検証を行う



Discover



Assess



Purchase



Pilot



Adopt

- ・ 外部連携により解決が可能な社内の課題を特定し、経済的な利益にフォーカスする
- ・ 課題を解決するスタートアップをリストアップする

- ・ 初期のパイロットプロジェクトを決定し、成功の定義を行う
- ・ パイロットプロジェクト対象となる製品・技術・サービスを購入する

- ・ パートナーシップ契約もしくはサプライヤー契約を締結する
- ・ 更にスタートアップソリューションを拡張採用できるか検討する

◆ FUJI オープンイノベーションへの取組み

ビジョン ➤ イノベーションを通じて、会社の成長に貢献する

戦略 ➤ 社内外への働きかけを有機的に連携させサイクルを構築し、イノベーションのドライバとする

- 6つの重点領域を定め、それに向けたパートナー探索と情報収集を実施
- 協業の対象とするスタートアップのステージは、「シード」、「ステージA」、「ステージB」

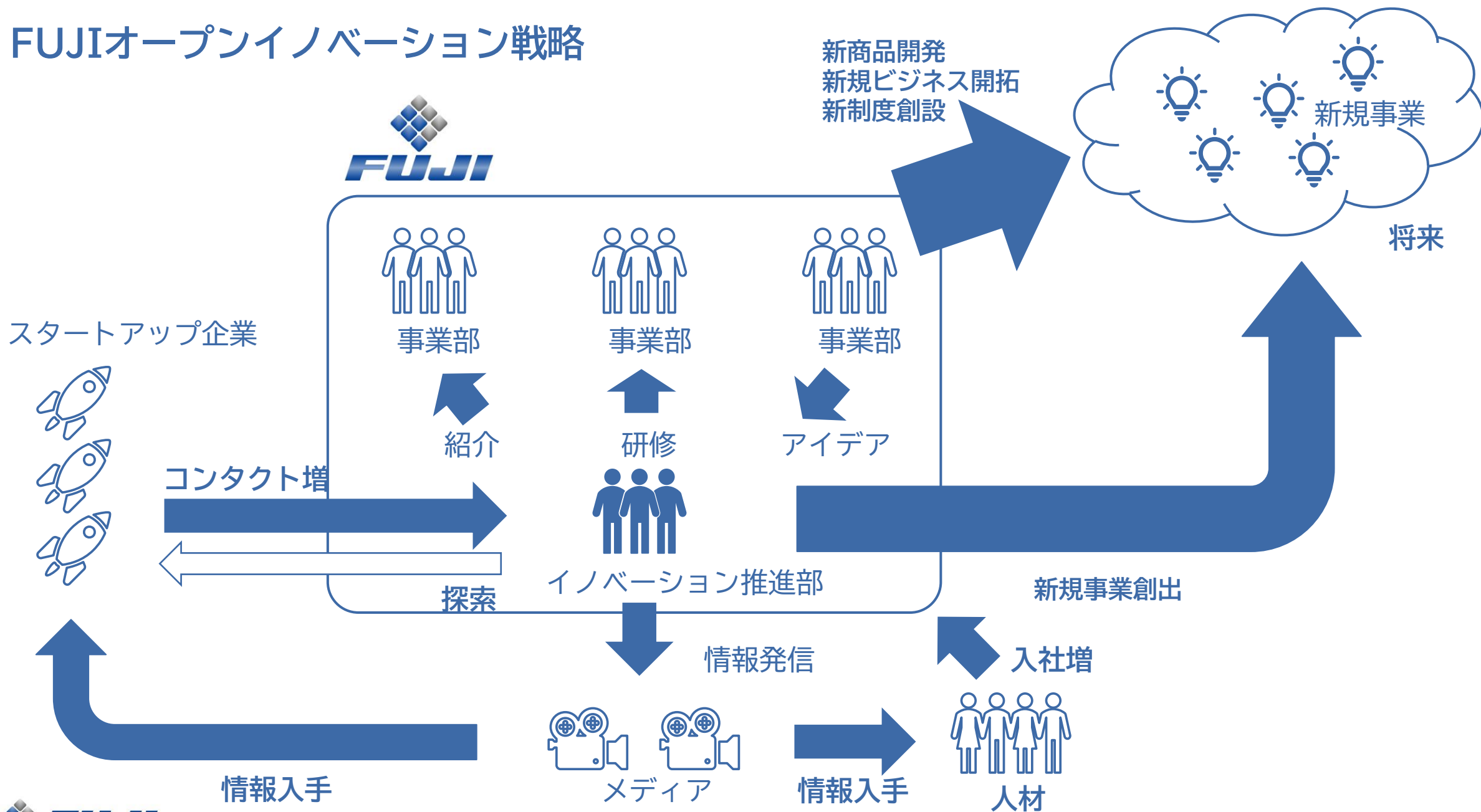
活動の枠組み ➤ イノベーション推進部とFILを中心にRS事業部、MT事業部、コーポレート本部、開発センターが相互に連携して行う



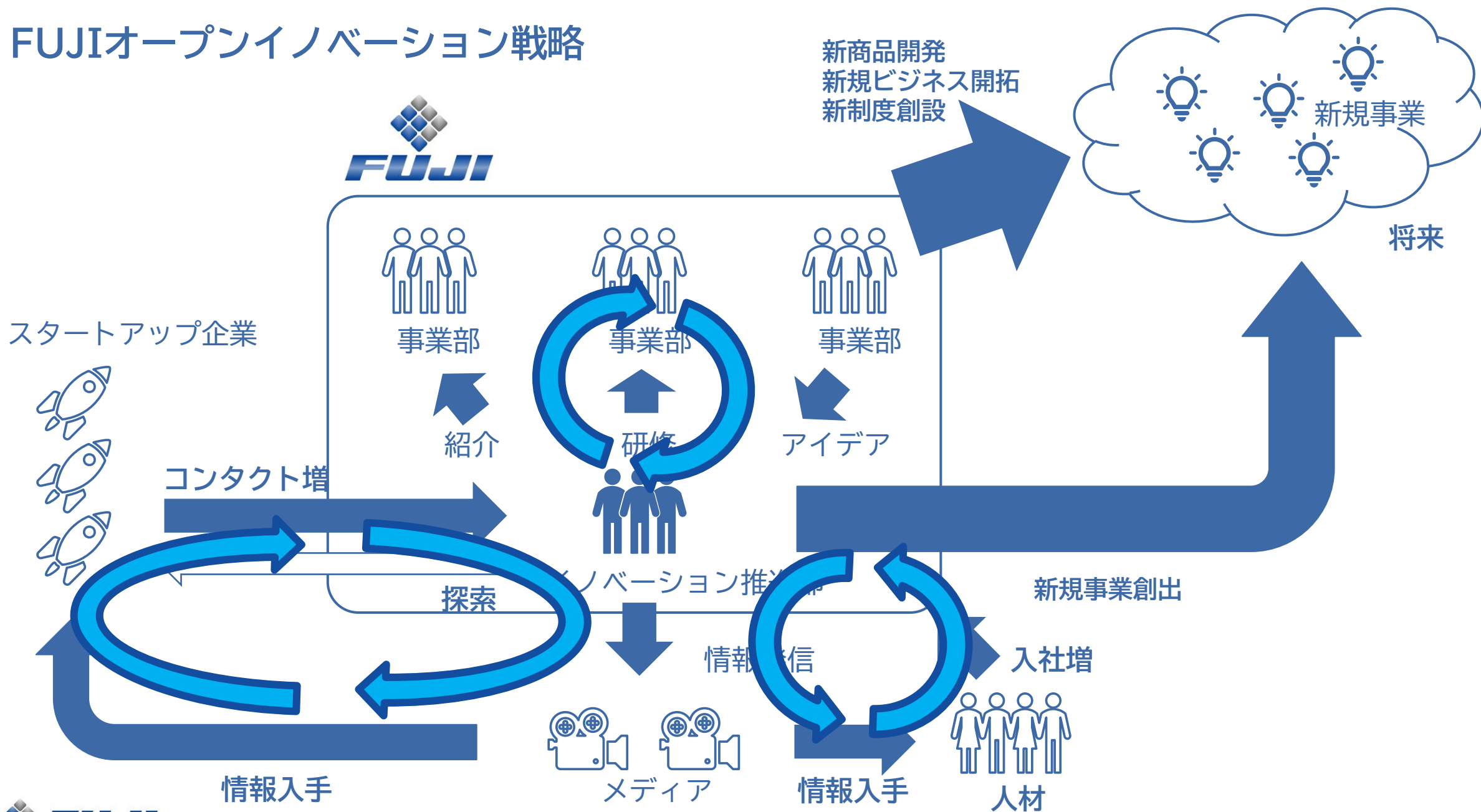
カルチャー醸成

- オープンイノベーション部会による全社横断的なイノベーション活動
- 社員向けのイノベーション研修
- アイデア公募プラットフォーム

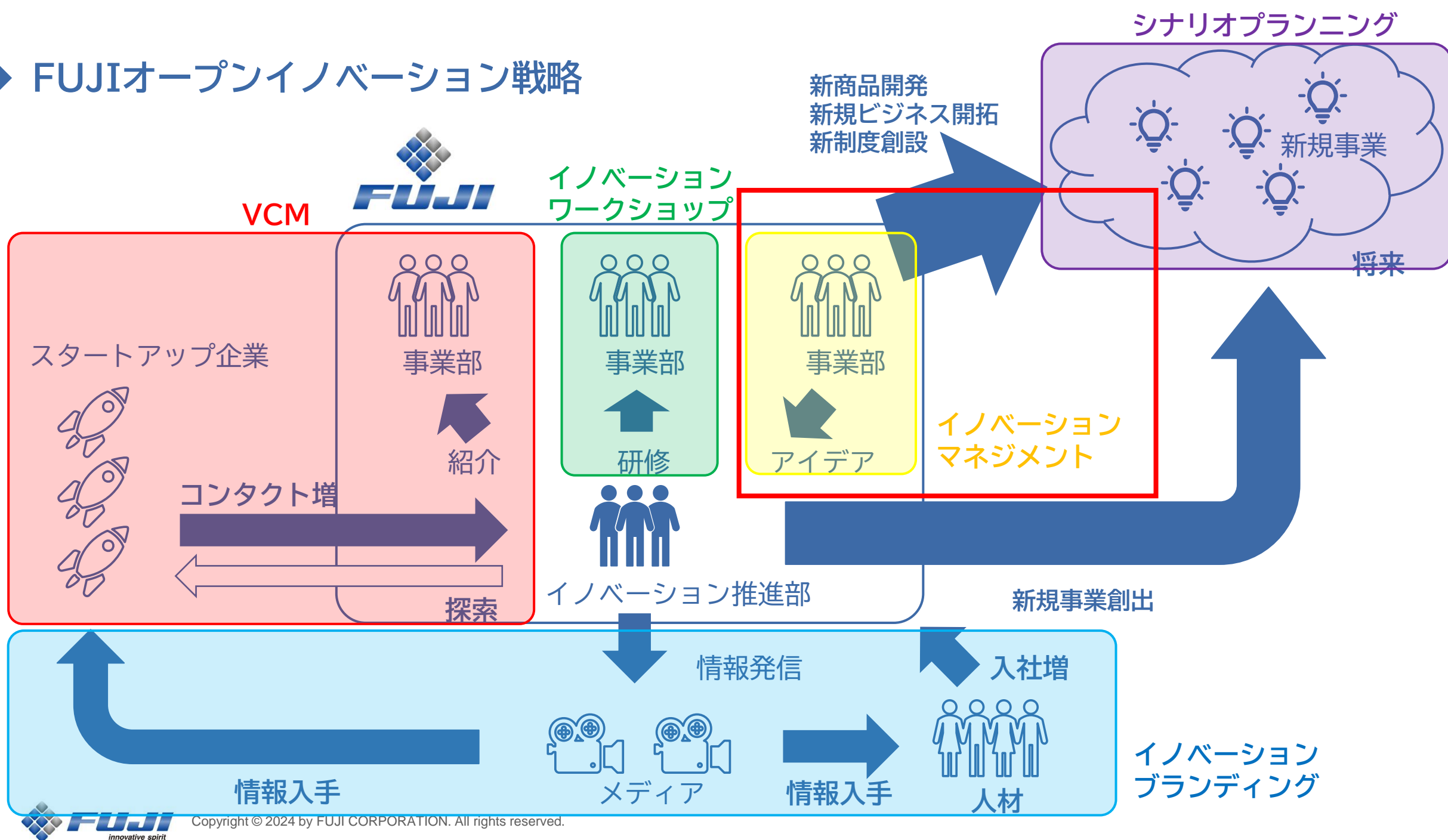
◆ FUJIオープンイノベーション戦略



◆ FUJIオープンイノベーション戦略



◆ FUJIオープンイノベーション戦略





いいね
チャンネル登録
よろしくお願いします



FUJI Innovation Lab.



WAVE(社内アイデア公募制度)

誰でも参加可能な新規事業アイデア公募制度



WAVE

Will to Act Vision to Expand

■WAVEとは

- ✓FUJIの誰もが自由にアイデアを共有し、「**いいね↑**」による共感が事業を生む、応募者だけではない、全員参加型の新規事業創出の仕組みです。
- ✓誰でもお気に入りのアイデアに「**いいね↑**」やコメントができるのでアイデアを応援することで事業化の後押しをしていくことが可能です。
- ✓応募されたアイデアの事業化に向けて、WAVE事務局(イノベーション推進部)が全面的に伴走・サポートします。

■アイデアの収集・管理方法

Ideascaleを使用。

WAVE サイクル概要

一次審査



2ヶ月
(随時)

1~2ヶ月

アイデア応募

アイデア構築

二次審査



3ヶ月

ビジネスプラン検討

伴走 (WAVE事務局)

最終審査



6ヶ月

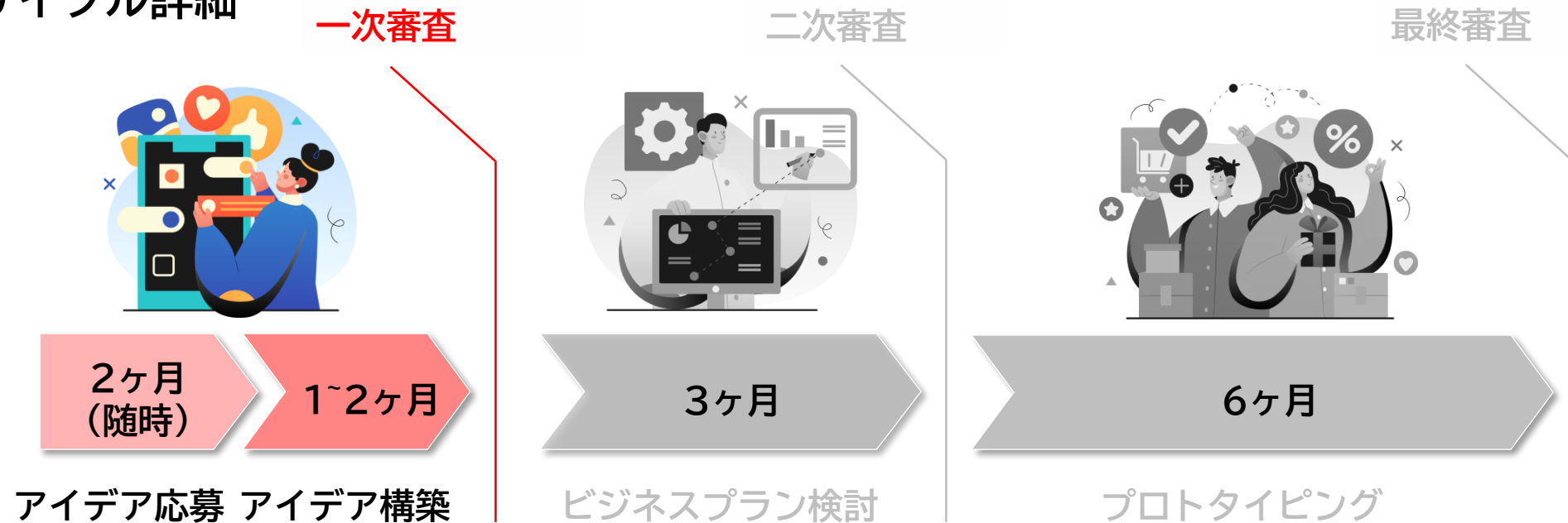
プロトタイピング

伴走 (WAVE事務局)

※「アイデア応募」以降の「アイデア構築」、「ビジネスプラン検討」、「プロトタイピング」フェーズに進む場合、応募者の工数の取り扱いについて、応募者の上長/本人/事務局と相談の上、柔軟に対応して進めます。

1年間の新規事業創出サイクル

WAVE サイクル詳細



IDEASCALE
Igniting Innovation

「いいね↑」 → 50個

「メンバー」 → 3人

リーンキャンパス
== 完成

評価者の合意入手

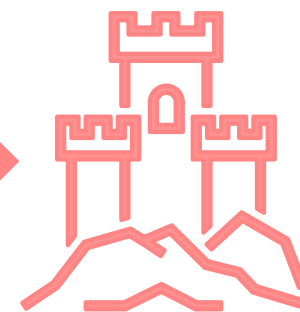
一次審査
(Gate1)△

アイデア
出し




チーム
編成

アイデア醸成
コンセプト創出

評価





Ideascaleの実際の画面

 /  FUJI ▾ /  WAVE1 🔒 ▾


検索


...





提出する



 新しいアイデアを提出する

純投票数 ▾ ↓

ラベル ▾

≡ ≡ ≡

50

...

チームを...

...

↑ 42 ↓

...

↑ 27 ↓

...

↑ 19 ↓

...

73 投稿されたアイデア ⓘ

6,622 アイデアビュー ⓘ

111 コメント ⓘ


1,454 投票数 ⓘ

キャンペーンチームを見る

キャンペーンファネル

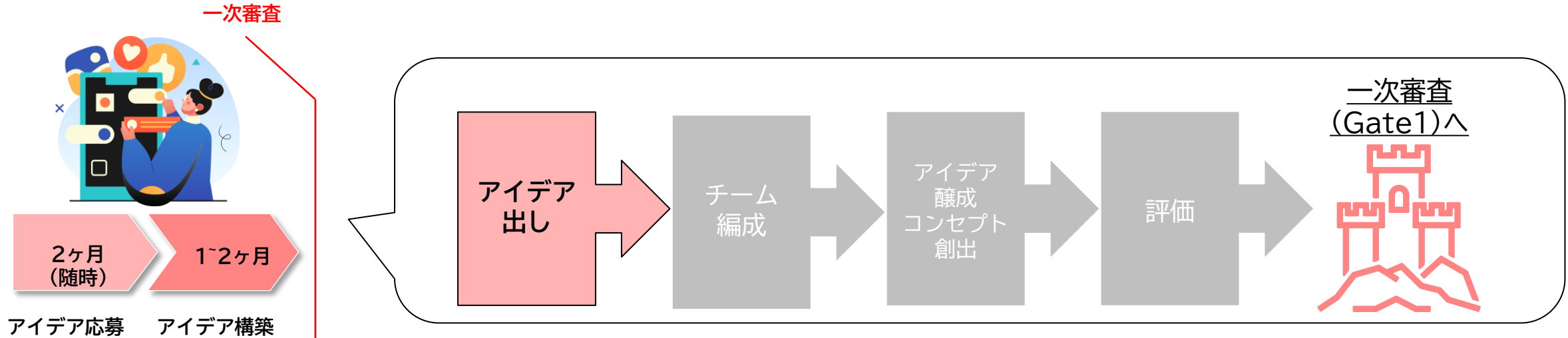
↑

すべてのステージ	73
アイデア出し	65
チーム編成	2
アイデアの醸成/コンセプト創出	0
評価	0
完了	6

 **FUJI**
innovative spirit

Copyright © 2025 by FUJI CORPORATION. All rights reserved.

一次審査までのステップ



■アイデア応募の必須項目

1.解決したい困りごと

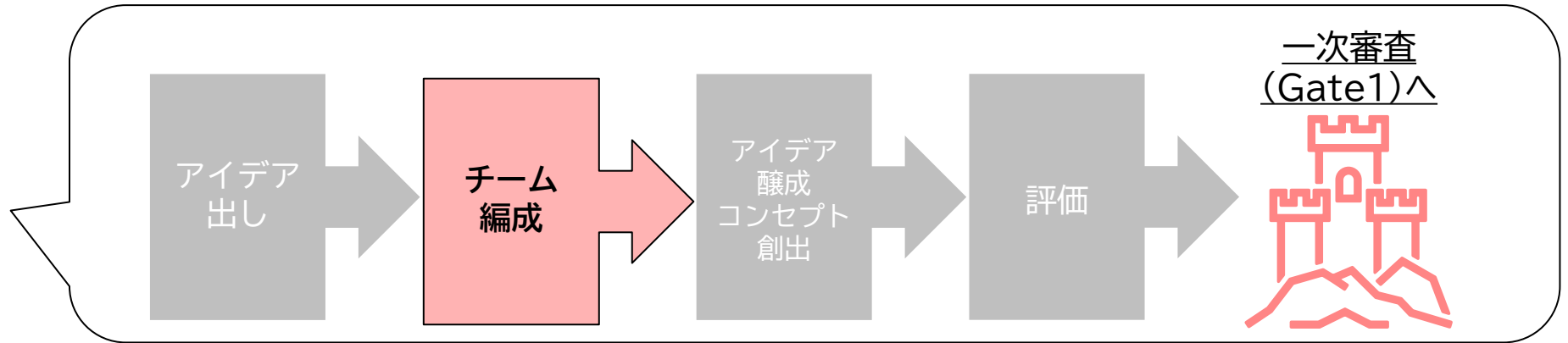
2.誰の困りごとなのか

3.解決策のアイデア

■チーム編成へ移行する条件

社員から“いいね↑”を**50**個獲得する

一次審査までのステップ



■チーム編成

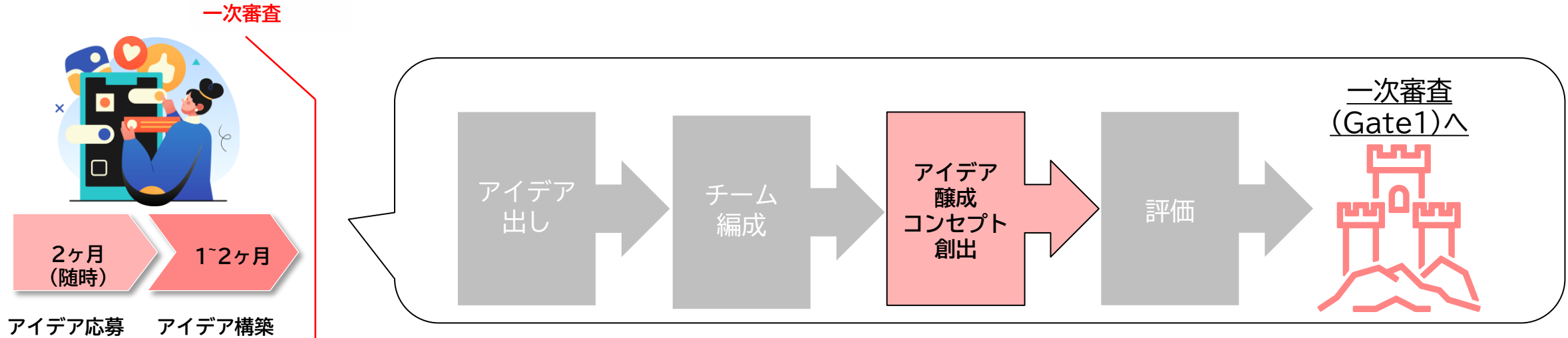
3人/1チーム

■メンバー決めについて



メンバーになりたい人が立候補 or アイデアの応募者がメンバーを選出

一次審査までのステップ



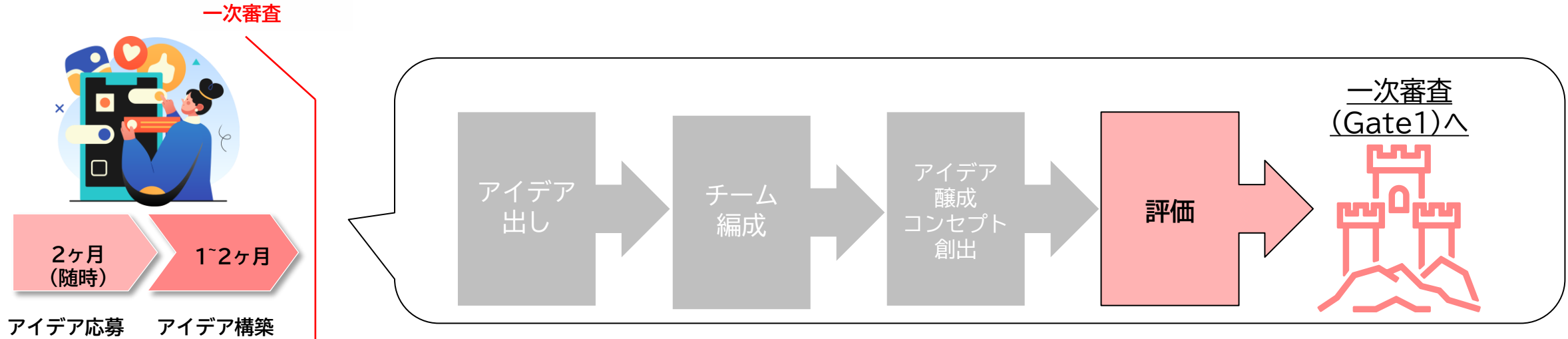
■一次審査に向けて、アイデア醸成/コンセプト創出

以下の設問8つを通してアイデア醸成/コンセプト創出を行う

※工数20%を上限に活動予定

1. 課題は何ですか？	5. 顧客は何を欲していますか？
2. ニッチすぎるものになっていないですか？	6. 独自の価値提案は何ですか？
3. 顧客は誰ですか？	7. このアイデアのビジョンは何ですか？
4. 解決策は何ですか？	8. スケールさせる上で、チームに必要な人物は誰ですか？

一次審査までのステップ



■評価について

WAVE事務局でアイデアを事前評価し、
「審査通過」となったアイデア/チームは「一次審査」へ。

WAVE1 結果

○データ集計期間（2024/11/17-2025/2/6）

項目	総数
アイデア登録数	73
アイデア閲覧数	4,260
投票数	1,495
コメント数	34

——

項目	総数
50票獲得アイデア	8
チーム編成	6
一次審査通過	2
二次審査通過	1



WAVE1 効果と課題

○効果

- ・イノベーション人材の発掘
- ・オープンなプラットフォームによる、アイデア応援文化の芽生え
- ・部門を越えた協働スキルの習得
- ・参加者同士のコミュニティの形成

○課題

- ・管理職層でWAVE(新規事業)への理解・必要性の浸透が低い
- WAVE1の総括および活動紹介動画を作成
社内イノベーション研修での周知



誰でも応募可能な新規事業創出プロジェクト



WAVE 2



FUJI

innovative spirit